

平成14年 3月
第5号

自治連だより

発行 八千代市自治会連合会
代表者 手塚宏昭
事務局 八千代市大和田新田312-5
八千代市役所市民参加推進課内
047(483)1151(代)



八千代中央駅から徒歩3分の建設予定地(白線部分)

長年の市民の願いが実現 東京女子医大附属病院

ゆりのき台に 平成17年4月開院を目指して

八千代市民の強い要望であった高度医療の可能な総合病院がようやく実現します。

去る1月17日、東京女子医大から千葉県知事に出された病院開設計画書によると、場所は八千代中央駅から徒歩3分のゆりのき台3丁目地先、施設は約2万平方メートルの敷地に免震構造を備えた建物が建ちます。

総合病院として、内科、外科、循環器科、消化器科、脳神経科、

整形外科、皮膚科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、腎・泌尿器科、形成外科、歯科、口腔外科、麻酔科、救急医療科の16診療科目のほか、リハビリテーション部が設置される予定です。

自治会連合会は、安全で安心して暮らせる街を望み、一日も早い大学病院の実現を望んできました。

そこで、大学病院の開設により八千代市の医療がどうなるのか、市民の関心の高いところを手塚自治連会長が大澤市長と杉岡医師会長に尋ねました。

Q まず、病院開設計画書を見ての感想は

A 大澤市長
市内の病院・診療所との連携が強く打ち出されており、開放病床も備える計画になっています。

A 杉岡医師会長
市民の高度医療や生命にもかかわる救急医療、小児医療にも十分対応できる計画であり、市の構想に掲げた診療機能を上回るもので、評価しています。

Q 市民の意見をどのように反映

A 大澤市長
市民の意見等を取りまとめ、専門家等の委員会や市議会の意向も踏まえながら大学と協議し、反映に努めています。

自治会連合会は、安全で安心して暮らせる街を望み、一日も早い大学病院の実現を望んできました。

Q 本市の医療の現状と東京女子医大附属病院に期待するものは

A 杉岡医師会長
医師会が高度医療・院として、これらの課題に対応していただくこととなります。

A 大澤市長
高機能病院の実現を強く訴えてきた理由は、市内の医療機関等をバックアップする体制が弱く、地域医療に危機感を持ったからです。

A 杉岡医師会長
大学側の病院開設趣旨は、市内の病院等との連携による地域密着型の総合病院です。大学病院と市内の病院、診療所は病棟連携、病診連携を行います。

A 杉岡医師会長
できること、できないこともありませんが、市民の意向を反映することは地域密着型の病院を目指す大学にとって歓迎のほうです。

今後の八千代の医療は

大澤市長と杉岡医師会長に 手塚自治連会長が聞く



Q 大病院と市内医療機関の連携は

A 大澤市長
大病院等が進出する場合、医師会として反対するケースが多いなか、本市は医師会が自ら積極的に誘致を進めて来ましたが、大病院は市内医療機関の後方支援病院として各々が役割を

A 杉岡医師会長
早期の実現を!

自治連会長に
手塚氏が就任
昨年の10月、前会長山崎英美氏の退任により、手塚宏昭氏(八千代台南町会)が就任いたしました。

A 杉岡医師会長
診療科目は16科とりハビリテーション部で

A 大澤市長
本市は入院患者の63%、救急患者の36%が市外の病院のお世話になっていきます。

A 大澤市長
高機能病院の実現を強く訴えてきた理由は、市内の医療機関等をバックアップする体制が弱く、地域医療に危機感を持ったからです。

A 大澤市長
医師会として反対するケースが多いなか、本市は医師会が自ら積極的に誘致を進めて来ましたが、大病院は市内医療機関の後方支援病院として各々が役割を

A 大澤市長
市民の意見等を取りまとめ、専門家等の委員会や市議会の意向も踏まえながら大学と協議し、反映に努めています。

自治連会長に
手塚氏が就任
昨年の10月、前会長山崎英美氏の退任により、手塚宏昭氏(八千代台南町会)が就任いたしました。

自治連会長に
手塚氏が就任
昨年の10月、前会長山崎英美氏の退任により、手塚宏昭氏(八千代台南町会)が就任いたしました。

フラージュ八千代管理組合自治会 夜警団を結成して 深夜のパトロール

自治会めぐり その4



ヘルメット、対刃プロテクターで
完全防備した夜警団

フラージュ八千代管理組合自治会(伊藤禎造
会長 会員数230世帯)が、八千代市の自治
会で初めて、夜警団を結成してパトロールを始

めました。これは、同
マンション内で車の盗
難やバイクのいたずら
等が発生したり、少年
がたむろして煙草を吸
っていたりしており、
つづっていた住民の不
安を解消するために実
施されたものです。
パトロールは、月に
2回、金曜日から土曜
日にかけての深夜12時
から1時までの時間帯
に、ヘルメット、対刃
プロテクター、懐中電
灯、笛、無線機、傷害
保険で「完全防備」し
た夜警団11人がマンシ

ョン内をくまなく巡回。
全世帯が参加し、1年
に1回順番が回ってく
るそうです。
「最初は「何かあつ
たら」ということで住
民から反発があり、自
治会の役員だけで実施
していたが、2回の説
明会とお巡りさんの協
力もあって、ようやく
全員で実施することが
できた。今では軌道に
乗り、「基本的に安全と
安心は自分達で守る」
という意識が芽生えて
きた。」と伊藤会長は話
していました。

祝新築! 高津自治会館、緑が丘自治連合会館

◆高津自治会館



旧公民館の老朽化や
新しく住民が増えて手

狭になったことから、
建設委員会を組織して
新築。半円形の会議
室や玄関脇のギリシャ
神殿風の柱が
お洒落です。

- ▼場所 高津 295
- ▼建物 木造
- ▼平屋建て
- ▼延べ床面積 164・19 m²
- ▼新築工事費 2千737万円 (市補助金1千万円)

◆緑が丘自治連合会館



緑が丘地区にコミュ
ニティ活動の拠点なる

施設がないことから3
自治会(八千代緑が丘
自治会、八千代緑が丘
2丁目自治会、野村西
八千代自治会)が連合
会を組織して建設。土
地は野村不動産から市
に寄付されたものを借
用。

- ▼場所 緑が丘1-5-1
- ▼建物 木造
- ▼2階建て
- ▼延べ床面積 236・67 m²
- ▼新築工事費 3千24万円 (市補助金1千万円)

地区自治会連絡会の動き

大和田地区

9月29日の土曜日、
地区連絡会を兼ねて、
市長と対話集会を開
催、八千代都市マス
トプラン素案のうち、
大和田地域の街づくり
の基本方針や整備構想
の説明がありました。
その他、地区自治会か
らの要望等の質疑応答
を行いました。

次回は3月下旬、相
互連絡、懇親を中心と
し、大和田新田下区公
会堂で開催予定です。

高津・緑が丘地区

第1回目の会議を8
月19日に開催、自治会
への加入、放置自転車
等の処理について話し
合いました。また、当
地区の防犯組合連合会
役員から日頃の防犯活
動についての説明があ
り、「今後もよろしく」
とのことでした。

今、緑が丘C街区が
開発中でその一角に公
民館と図書館ができる
とのこと、当連絡会
からは、駐車スペース
を多くとるよう要望
しました。

睦地区

当地区では年間行事

阿蘇地区

として、「福祉祭り睦」
「敬老事業」佐山の獅
子舞」があり、この3
つの行事を中心に活動
しました。特に「福祉
祭り睦」や「敬老事業」
では各自治会長等が積
極的に参加し、無事終
わることができました。
また、個々の自治会
としては新島田町会が
防犯灯を消したの夜間
避難訓練を行ったほか、
島田区、島田台地区は、
新年の神社で交歓会を
実施しました。

勝田台地区

昨年8月、当地区に
とっては久しぶりの町
会が誕生しました。コ
ートレイ米本町会です。
会長は藤田正行さん、
世帯数は23戸で、米本
南小にほど近い全戸
建住宅の閑静な街で
す。21世紀にふさわし
い住みよい街づくり
にエールを送ります。

なお、地区の会長連
絡会を3月に予定して
います。

村上地区

黒沢台第一公園を現
況の道路の高さまで高
上げる改修工事にあ
たり、八千代市役所、
周辺自治会、学識経験
者、設計コンサルタン

八千代台地区

トにより構成される検
討会を設置。県立「柏
の葉公園」(柏市)緑の
相談員として活躍され
る伊藤義治氏を座長に
迎え、全3回にわたる
検討会に出された意見
を取りまとめ、詳細設
計に反映中。

勝田台地区

10月に八千代台東、
南、西北、北東の各支
会に分かれ敬老会を開
催しました。
11月には役員35名が
出席し、先に提出済み
の要望事項について、
市長対話が行われ、八
千代台東口エスカレー
タ設置決定の報告や東
京女子医大病院の誘致
についての説明があり
ました。

勝田台地区

勝自連はこれまで、
サマーフェスティン勝
田台に協力するための
会議、自治連研修会の
報告会、しるばら幼稚
園の跡地利用会議、自
主防災組織確立会議等
を開催し、地区住民の
環境改善と親睦を図っ
てきました。

村上地区

今後より活発に情
報交換会を開催したい
と考えています。

宮城まり子の「ねむの木村」を視察

昨年の11月25・26日
快晴の中、28名が参加
し、自治連の視察研修
を実施しました。

視察先は、静岡県掛
川市、女優の宮城まり
子さんが運営する「ね



ねむの木村
ねむの木公園、ねむの木保育園、ねむの木の図書館、吉行淳之介文学館

むの木村」。この施設は
各種の福祉施設があ
り、健康な人、ハンデ
イを持った人、老人、
若者がともに暮らせる
場所です。「とてもきれ
いな施設で、入所者一
人ひとりが生き生き
と生きていた。そこ
にいと自分も人
にやさしくなれる
雰囲気がある。」と
ある参加者は話し
ていました。
宿泊は館山寺温
泉。大澤市長、長
岡議長をお迎え
し、お互いの親睦
を深めました。

成功裏に終わった敬老会

13年度から敬老事業
を社会福祉協議会の支
会が実施することにな
り、自治会としても積
極的に協力し、各支会
でさまざまな趣向が凝
らされた敬老事業が実
施されました。

準備から本番まで多
くの人たちが協力し合
った開催だけに、その
喜びもひとしおです。
た。

編集後記

今回編集に携わった
のは、手塚会長、山田
副会長、大滝副会長、
将司幹事、村田幹事、
山崎幹事、橋本幹事の
皆さんです。
大澤市長、杉岡医師
会長をはじめ、編集に
ご協力を頂いた方々に
感謝申し上げます。

自治会加入促進リーフレット作成

懸案となっていた自
治会加入促進リーフレ